おおさか人権情報誌

# そうぞう

2010.10
No. 28

## 特集 “支援”について考える

KONISHIKIさん（元力士、タレント・歌手）
平松愛理さん（シンガー・ソング・ライター）

人権啓発フェスティバルin大阪～ハートフルおおさか2010～イベントスケジュール

「特集」KONISHIKIさん“KONISHIKI キッズ”

このひと／7ページ
「いつでも相談して」24時間対応で性暴力被害者を支える
加藤治子さん（性暴力救援センター・大阪　SACHICO代表・阪南中央病院産婦人科医）

NPO・草の根活動／8ページ
障がい者スポーツを楽しむ会
結空間

人権相談の現場から／9ページ
児童虐待（ネグレクト）に関する人権相談

大阪府では…／10ページ
人権情報ガイド「ゆまにてなにわvol.24」

お知らせ／10～11ページ

まちを歩く【第24回】／12ページ
大和川付け替え ー大和川治水記念公園ー（柏原市）

人権啓発詩／12ページ
「友達」

# 特集 “支援”について考える
## ～人権啓発フェスティバルin大阪（ハートフルおおさか2010）出演者にきく～

社会的に困難な状況に置かれた人たちがクローズアップされ、一方、それに対する支援の輪も広がっている。
そして、その“質”や“あり方”が問われているいま。
「してあげる」、「してもらうという」関係ではなく、対等でお互いが満足できる関係でいられる支援、持続可能な支援とは何か。
今号は、11月に大阪で開催される人権啓発フェスティバルに出演されるお二人のお話から、“支援”について考える。

## 子どもたちの力を信じる それがほんとうの 支援だと思う

**KONISHIKIさん**
元力士、タレント・歌手

**圧倒的な存在感と明るいキャラクターで親しまれてきたKONISHIKIさん。1980年代から90年代にかけて初の外国人大関として活躍、引退後はテレビ出演や全国各地でのライブ活動をおこなっている。精力的な活動の根底にあるのは「自分を育んでくれた地域社会に恩返ししたい」という強い思いだという。**

ぼくが生まれ育ったのは、ハワイ・オアフ島のリーワードエリアにある、ナナクリという地域です。ハワイといえばワイキキ・ビーチや一流ホテルを思い浮かべる人が多いと思うけど、ナナクリは経済的に厳しい状況にある人が多く、多くの家庭がなんらかの生活援助を受けています。

なぜ経済的に苦しいかというと、給料が安く、不安定な仕事にしか就けないから。じゅうぶんな教育を受けられなかったことが大きな理由の一つだと思います。子どもたちの親も2つも3つも仕事をかけもちしていることが多いのです。だから学校から帰ってきても、家に誰もいない。そこで親を助けるためにいっしょうけんめい家事をする子もいるけど、やんちゃで「かっこいい」先輩のまねをしようとする子もいます。ちょっとしたきっかけで、その先が全然ちがってくるんです。

地域そのものの環境も厳しいです。車で10分も走ればショッピングモールやきれいな公園があるのに、ナナクリにはぼろぼろの公園しかない。同じ公立小学校でも、ナナクリの小学校はなぜか教育予算の割り当てが少なくて、エアコンも新しいライブラリーもない。

家庭も地域も厳しいなかで、それぞれがどう乗り越えるかが重要です。厳しいことをバネにして、自分たちがもっているものでがんばっていこうという気持ちで、1997年に「KONISHIKIキッズ基金」を設立しました。子どもたちに“夢を持ち、忍耐強く努力すれば何事も達成できる”ということに気づくチャンスを与えたいと思いました。

ぼく自身は、勧めてくれる人がいて、中学3年の時に地元の学校から地区外の進学校へ転校しました。新しい世界と出会って、さまざまなことを知り、学びました。同級生たちは今、弁護士や医者、大学教授になっています。一方で、地元の同級生が成功したという話はほとんど聞きません。この違いは、その人に問題があるのではなく、与えられた環境や機会の差です。ナナクリ地区の子どもたちも小さなコミュニティから飛び出す機会があれば、世界観が変わるはず。夢をもち、ねばり強く努力すれば、自分たちだって何かをなしとげたり、安定した生活を送ることができることに気づいてほしい。「KONISHIKIキッズ」がそのためのチャンスになればと思っています。

具体的には、毎年35人の小学6年生を日本に招待しています。お茶やお花といった日本の文化に触れたり、お相撲さんの稽古を見学したりします。日本の小学6年生との交流もあります。実際に日本で作られる様々なものを見せると「日本というちいさな国がこんなにすごい製品を作り、すばらしい文化をもっている」ということが、子どもたちにはすぐわかります。そうして感じ取った日本のいいところを少しでも持って帰ってくれるのがなによりのおみやげになります。

なぜ小学6年生なのかというと、中学生になればほとんどおとなの世界だからです。学校のなかでも高校生や大学生に混じって生活し、「若いおとな」として扱われます。その前に、日本を訪れるという経験を通じて自分なりの夢をもってほしい。夢があれば、イヤなことと闘う気持ちになれます。

今年で13年目を迎えましたが、「KONISHIKIキッズ」になった子どもたちの約8割が大学に進学しています。地区の2つの高校を合わせた大学進学率が2%なので、かなりの数字です。もちろん、大学進学だけがすべてではありません。大学に行かなくても、安定した仕事を得るためにはどうすればいいか、自分で考えてノウハウをつかんでほしいと願っています。

**「ぼくは相撲という世界に育てられ、助けてもらった」と話す。その経験から、未知の可能性をもつ子どもたちへの支援には、子どもたち自身がもつ力を信じることが何より大切だと考えている。**

ハワイからやって来た、相撲を全然知らないぼくに、親方は「小錦」という立派な名前をつけてくれました。初めから「こいつは強くなりそうだな」という目で見てくれていたようです。

稽古は厳しかったです。ふつう、新弟子といえば朝早く稽古場に入るけど、終わるのも早い。掃除やちゃんこ番をするためです。でもうちの親方は、ぼくに誰よりも長く稽古をさせた。「なんでぼくだけにこんなに厳しいの」と不満に思ったこともありました。今なら、ぼくの力を信じて、本当に強くなるために稽古させてくれたんだとわかります。

親方は、厳しいだけではありませんでした。親方だけでなく、先輩も後輩も言葉や飲み会、食事を通じて気持ちを支えてくれました。だから、イヤなことがあっても相撲に集中できました。土俵にあがる時は一人だけど、支えてくれる人たちがいると思うと強い気持ちでいられました。バランスのとれた厳しさとやさしさのなかで育ててもらったと感謝しています。

支援とは、お金ではありません。その子自身がもっている力を信じ、コミュニケーションをとりながら見守ることが何よりも大事だと思います。

「KONISHIKIキッズ」では35人の子どもしか日本に連れてこられません。もっと広く、たくさんの子どもたちに支援を届けたいと、毎年公立小学校に寄付をしています。今年からはハワイの自宅を開放して塾のようなものを始めました。教育予算がどんどんカットされるなかで公立小学校が週休3日になり、授業のある日もお昼すぎには終わってしまうんです。子どもたちにもっと学ぶ機会を与えたいし、放課後の居場所が必要だと考えました。先生たちもボランティアで勉強を教えてくれています。ナナクリ地区には約150人の小学生がいますが、家の目の前にあるビーチでおばあちゃんからハワイの歴史の話をしてもらうのも勉強だし、庭にテントを張れば、そこでも勉強できる。うまく使えば、みんな一緒に学べます。

夢は大きく、もち続けることが大切。いつか地元にちゃんとしたビルを建てて、親が働いている間、子どもたちが勉強したりリラックスできる場所をつくるというのがぼくの夢です。このパッション（情熱）があるから、仕事もいっしょうけんめいがんばれます。

# 歌だからこそ伝えられる

## ～気持ちを温め、ただ傍にあることで人は人に支えられる～

平松（ひらまつ） 愛理（えり）さん
シンガー・ソング・ライター

**1989年のデビュー、1992年にレコード大賞作詞賞の受賞があるなど、シンガー・ソング・ライターとして歩んできた平松さん。だがその道のりは決して平坦ではなかった。闘病から休業、阪神淡路大震災、そして再出発。悲しみや喜びから得た糧でより深まりをみせた平松さんからのメッセージ。**
**生きることの意味や支援についてきいてみた。**

### ――平松さんの「喜びも悲しみもすべてがギフト」に込められた思い

最近、ただ時間を過ごすということではなくて、“どうやって生きていくのが一番自分らしくいられるか”を意識しています。また、そういう時間の使い方をしています。ある時から、「人は生まれついた瞬間から死というゴールに向かっているんだ」という事実に強く気づかされました。これをすごく健康な人や、一度も病気をしたことのない人とかに言うと、何て後ろ向きな、という人が多いんですが、でも、実はこんなに前向きな考え方はないんです。生まれついた瞬間からもうカウントダウンは始まっていて、生きることが終焉（しゅうえん）に向かっている。「じゃあ自分は何をしたらいいのか」という、前向きな発想から来ているものです。

なので、そのゴールに向かって持って行くものは、地位や名誉やお金じゃない。目に見えない自分の心というものが豊かであるかどうか、それだけをめざして生きていきたいなと思って日々過ごしています。失敗しても、もう一回原点に立ち戻る。どれだけ考えをそこに戻せるか、それが生きることだと思っています。

“喜びも悲しみもすべてがギフト”というのは、いいことにも悪いことにも、必ず学ぶべき点があるということですね。

喜びは、喜べる自分をとても嬉しく感じています。私が“喜べる”理由になっている廻（まわ）りの人や、物に感謝をする、ありがたいという風に心の底から思います。

悲しみは、悲しみを知らないと人にやさしくなれないと思うんです。悲しみは本当に辛いことです。けれど、その悲しみを知り、抱えつつ嬉しいことに出会うからこそ、もっともっと嬉しいことになるんです。どちらも同じくらい私に学びというものをくれる産物です。

## ――阪神淡路大震災復興支援ライブを継続し、レインボーハウスへの援助も続けてきた思い

まず第一に、神戸という街が大好きだということが気持ちの根っこにあったことが本当に大きかったですね。

一番最初に震災遺児の心のケアハウス「レインボーハウス」の完成記念式典で、ご遺族の方々が深い悲しみの中、「美し都～がんばろやWe love KOBE」を歌って下さいと言われました。あの日、あの瞬間の人の命、心、生命力。音楽の在り方、歌の力、そういうものを初めて知る機会となりました。レインボーハウスにあの日行かなかったら、阪神淡路大震災復興支援ライブのKOBE MEETINGは存続していたのかな、と考えます。

自分に子どもがいるというのも大きいかなと思います。もし自分に子どもがいなかったら、子どもの立場で震災により親を亡くしてしまうというのはどんなものかと考えてしまいます。遺児の子どもと同じ気持ちにはなれないかもしれないけど、子どもを持つ親としては先立たなくてはならなかった気持ちはどんなだったんだろう、と推し量ることはできると思うんです。

このような思いを支援してくださる廻りのスタッフの方々、ずっと来て下さるKOBE MEETINGの参加者（お客様）がいたからこそ、なんとかここまでやってこれたと感謝しています。

## ――平松さんにとっての支援の意味

同じ経験をしていないから、その人と心を同じくすることはできないかもしれません。傍(そば)にいて言葉で頑張ってという訳でもなく、歌で気持ちを温めることとか、ただ気持ちが傍にあるとか、そういうことで人は人に支えられる。そうして、深い悲しみから少し光が見えたり、きゅっと固まっていた気持ちや構えていたものが少しほぐれたりしていく。そういうことは可能ではないかと思っています。

それを私は音楽で応援という形でやっていけたらなと思っています。それは、誰かの傷とか街の傷とかに向けてだけでなく、外への呼びかけとして被災地以外の人たちや、次世代の人たちに震災を伝え続けていくということです。街に足を運んでもらうとか、常に注目してもらうとか、心を寄せてもらうとか、それが次世代の人たちにも伝わっていく、と思っています。

あれだけ沢山(たくさん)の方が亡くなったという意味を、今を生きている自分たちがどこかでちゃんと感じて生きていくことは大切です。

## ――シンガー・ソング・ライターとして、歌で伝えていきたいこと

頑張(がんば)っている人に「頑張って」と言葉はかけられません。でも歌ならそれを伝えることができる。この事実はラブソングがずっと存続し続ける大きな理由だと思います。普通に愛してると言えなくても、ラブソングで I love you と歌える。言葉にメロディーをのせるというのは、人の気持ちを伝えることができるすごい手段です。また何年か前によく聞いていた歌を今聴くと、その当時のことをすごく思い出したりもします。季節、匂い、自分が体験し感じたこと、五感に記憶しているものが蘇(よみがえ)ってくる、そういう力を持ち合わせています。

そういう歌というのを作って歌えていることって、本当にラッキーだなと思います。その歌の力を間違うことなく、誰かの心の支えになれますように、温めることができますように、癒せることができますように、という想いを今後も歌にして届けていきたいなと思っています。

**平松 愛理ホームページ**
**http://www.hiramatsueri.com**

# ハートフル おおさか 2010 イベントスケジュール

## 11月6日(土)

### O's南 ATCホール

**Aホール**

**■オープニングセレモニー**(10:00~10:45)
開会挨拶、歌手・大和田りつこさん、岡崎裕美さんや幼稚園児などによるフェスティバルテーマソング披露等。

**■小錦八十吉スペシャルトークショー「ニッポン人として！　国際人として！」**(11:30~12:30)
これまでの人生の感動のドラマを熱く、ユーモラスに語ります。

**■「う～み　ふれあいトーク&ライブ」**(14:00~15:00)
人と人の絆や、心の交流をテーマに活動する「う～み」さんによるトーク&ライブ。

**■「こころの再生」府民運動 トークセッション**(15:45~17:00)
狂言師 和泉元彌さんと華道家 池坊美佳さんが、日本の伝統文化・芸術の発展と、受け継がれる大切な心について、語り合います。

**Bホール**

**■府人権関連施策トピックスの紹介**(10:45~11:15)
**■「AED心肺蘇生法の体験ステージ」**(13:00~13:30)
**■「草の根人権活動賞」受賞者の活動発表1**(15:00~15:45)

**Dホール**

**■桂かい枝の～みんな落語で笑わせまっせー！**(10:00~10:45)
世界中で英語落語を公演している桂かい枝さんの異文化交流体験トークと英語落語体験会。

**■英語落語コンテスト**(11:15~12:45)
関西の学生による「英語落語」のコンテスト大会。

**■人権シンポジウム（(財)人権教育啓発推進センター）**(14:00~17:00)
人権を身近なものとして考えるきっかけとなるように、様々な人権分野で活躍されている方をパネリストにお招きします。

### O's南6F コンベンションルーム

**コンベンションルーム1**

**■「住宅の確保に係る人権問題」関係業界団体等によるシンポジウム**(10:15~11:45)
**■映画「カールじいさんと空飛ぶ家」特別上映**
**（1回目:12:30～14:06、2回目:15:00～16:36）**

**B2会議室**

**■人権問題関連研修会1　（13:30～15:30）**

**■行政関係・ボランティア団体・NPO法人による、活動実態や啓発資料等のブース展示**(10:00~17:00)　**■人権啓発資料展**(10:00~17:00)

### ITM

**10階・サンセットホール**

**■英語落語コンテスト表彰式・優勝者実演会**(13:30~14:30)
**■サンセット・音楽会**(16:00~17:00)
大阪府立夕陽丘高等学校音楽科生徒によるソロ・アンサンブル。

**11階・エイジレスセンター**　**■福祉・介護機器の展示・紹介、体験コーナー**(10:00~17:00)

### 屋外会場

**■ミニ電車の運行（星翔高等学校）**(11:00~16:00)　**■観光・物産展、飲食、物品販売**(6日(土)10:00~17:00　7日(日)10:00~16:00)

### 全体

**■「ハートフルクイズラリー」楽しく回って学びましょう!!**(6日(土)10:00~17:00　7日(日)10:00~16:00)　全てのラリーポイントを回った方には、すてきな景品をプレゼント。

## 11月7日(日)

### O's南 ATCホール

**Aホール**

**■それいけ!アンパンマン ショー「アンパンマンと正義の仲間たち」**
**（1回目:10:00～10:30、2回目:13:15～13:45）**

**■青春ストリート**(11:00~12:15)
高校生によるダンス、フォークソング、軽音楽、和太鼓のパフォーマンスステージ　[出演]今宮高校(ダンス部)、住吉商業高校(フォークソング部)、鶴見商業高校(軽音楽部)、芥川高校(和太鼓部)

**■国際人権フォーラム「日本・大阪の行動と未来」**(14:15~15:30)
FM　COCOLOのDJ・MEMEさんをコーディネーターに、国際色豊かなフォーラムを開催

**■平松愛理ハートフルコンサート**(16:15~17:00)
「部屋とYシャツと私」で知られる平松愛理さんの、こころ温まるやさしい歌声で、「ハートフルおおさか2010」のフィナーレを飾ります。

**Bホール**

**■郷土芸能（福岡県筑前町）「三輪太鼓」**(10:40~11:10)
**■「補助犬ふれあいステージ」**(12:40~13:10)
**■「草の根人権活動賞」受賞者の活動発表2**(13:45~14:30)
**■府人権関連施策トピックスの紹介**(15:30~16:00)

**Dホール**

**■男女共同参画に関する講演会**(10:00~12:00)
ユニフェム(国連女性開発基金)日本事務所所長代行　ステイヌン・グッドヨンスドッテさんによる講演等。

**■犯罪被害者の人権等を考える「人形劇&講演会」**(14:00~16:00)
全国犯罪被害者の会（あすの会）関西集会の会員による人形劇「悲しみの果てに」と犯罪被害について語る講演会。

### O's南6F コンベンションルーム

**コンベンションルーム1**

**■守ろう女性のこころと体**(10:15~11:45)
トークサロン「女性たちからのメッセージ」体と性の相談からみえてきたもの（ウィメンズセンター大阪）／Rio & Syugaコンサート
**■映画「カールじいさんと空飛ぶ家」特別上映**(12:30~14:06)
**■「ハンセン病問題」って、なあに？～ハンセン病回復者と学生による語り・唄～**(15:00~16:00)
（全国ハンセン病療養所入所者協議会 事務局長 神 美知宏さん　他）

**B2会議室**

**■人権問題関連研修会2・3**(10:00~12:00、13:30~15:30)

**B3会議室**　**■法務なんでも相談所**(11:00~16:00)　**（大阪法務局・大阪府人権擁護委員連合会）**

### ITM

**屋上・フットサルコート**

**■松竹お笑いタレントチーム特別参加!!**
**大学サークル対抗フットサル大会**(13:00~16:00)

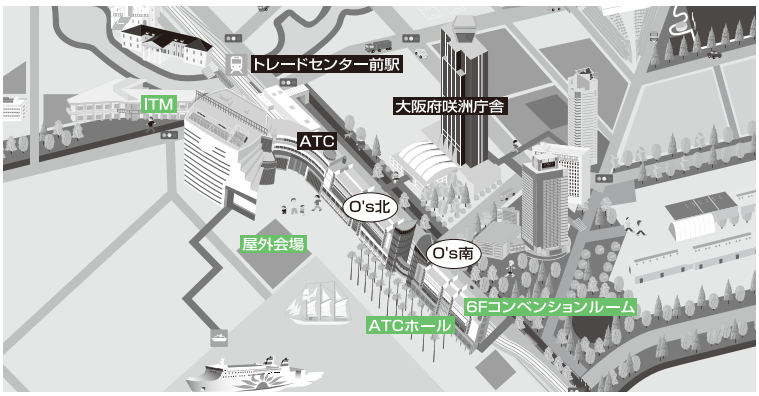
### 屋外会場

**■ミニ電車の運行（星翔高等学校）**(11:00~16:00)　**■観光・物産展、飲食、物品販売**(6日(土)10:00~17:00　7日(日)10:00~16:00)

### 全体

**■「ハートフルクイズラリー」楽しく回って学びましょう!!**(6日(土)10:00~17:00　7日(日)10:00~16:00)　全てのラリーポイントを回った方には、すてきな景品をプレゼント。

## 会場案内図




**会期**

**平成22年11月6日(土)・7日(日)**

**会場**

**ATC・ATCホール及びその周辺施設**
アジア太平洋トレードセンター
地下鉄・ニュートラム「トレードセンター前駅」下車直結　時間 10:00~17:00

**イベントの詳細は下記までお問合せください。**

府民お問合せセンター(ピピッとライン) #8001
または TEL06-6910-8001(平日9時~18時)　FAX06-6910-8005

**ホームページアドレス**

http://www.pref.osaka.jp/annai/moyo/detail.php?recid=6591

このひと

# 「いつでも相談して」24時間対応で性暴力被害者を支える

**加藤 治子**（かとう はるこ）さん

性暴力救援センター・大阪 SACHICO代表
阪南中央病院産婦人科医

## 心身を傷つけられた女性たちとの出会い

2010年春、大阪府松原市の阪南中央病院内に全国初である24時間対応の「性暴力救援センター・大阪」（通称SACHICO）が誕生した。女性の支援員が電話相談を受け、いつでも産婦人科医の診察を受けることができる。被害者が望めば弁護士やカウンセラーにつなぐことも可能だ。とことん被害者に寄り添う姿勢を打ち出したSACHICOを中心となって立ち上げたのが、産婦人科医の加藤治子さんだ。

医師を志した時、「女性の問題に取り組みたい」と産婦人科を選んだ。漠然とした考えだったが、実際に診察室を訪れる女性たちと向き合うと、がく然とすることが少なくなかった。レイプされた女性、夫に殴られた妊婦、父親から性虐待を受けた子ども。「女性に対する、特に性暴力が女性の心と体におよぼす影響がいかに大きいかを日常の臨床のなかで痛感してきました。」

2009年3月、定年を迎えると同時に一線から退き、同じ思いを共有する仲間とともに「女性の安全と医療支援ネット準備室」を立ち上げた。性暴力の被害者に何が必要かを議論するなかで、SACHICOの構想が練り上げられていく。35年の臨床経験のなかで形づくられた問題意識とネットワーク、そして性暴力への怒りが原動力だった。

## 「いつでも電話がつながる」ことが支援の始まり

性暴力は、それ自体はもちろんだが、被害にあった後にも被害者はさまざまに傷つく。「なぜついていったのか」「なぜもっと抵抗しなかったのか」「なぜお酒を飲んだのか」と警察や周囲に問われることも多いうえ、被害者自身が自分を責めてしまうのも性暴力被害の大きな特徴だ。そのため、誰にも言えないまま苦しむ人が多い。妊娠しても病院へ行けず、中絶可能な時期を過ぎてしまって産まざるを得なくなった女性も診（み）てきた。「だからこそ、いつでも電話がつながり、必要な支援を提供できることにこだわりました」と加藤さんは話す。同和地区の診療所が原点である病院もセンターの意義を認め、積極的に協力してくれた。運営は寄付でまかない、ボランティアスタッフが4交代でシフトを組んで電話や来所の相談に応じる。女性を中心とした約20人の弁護士もボランティアで相談に乗ってくれている。そして加藤さんは医師仲間と協力しながら被害者の診察と治療にあたる。「あなたは決して悪くない。ここで安心して心と体を回復してほしい」という思いをこめながら。

## 一人で苦しんでいる人に支援を届けたい

電話相談は4月72件、5月43件、6月142件、7月134件。強制わいせつも含めたレイプ被害で診察を受けた人（性的虐待含む）は、4月11人、5月6人、6月10人、7月14人。うち10歳以下も含めた10代は過半数を占める。スタートした意味があったと思うと同時に、やりきれない気持ちもこみあげる。「中学生が集団でレイプするようなケースもあり、男の子たちがそうした性的行為の犯罪性を感じていない現実はとても深刻です。性暴力を防ぐには、女性の性も自分の性も大事にするという性教育、人権教育が何よりも必要だと思います」。

経済的にも人的にも運営は綱渡りだ。しかし、一人で苦しむ女性が今も必ずどこかにいる。その人にSACHICOの支援を届けたいという強い思いが加藤さんを支えている。

**性暴力救援センター・大阪 SACHICO**
大阪府松原市南新町3-3-28　阪南中央病院内
**ホットライン**
TEL：072-330-0799（オンナキューキュー）
**連絡・お問い合わせは**
ウィメンズセンター大阪
TEL：06-6632-7011

# 障がい者スポーツを楽しむ会

皆さん、こんにちは。私達は障がい者スポーツを楽しむ会です。この会の目的は、自宅に閉じこもりがちの障がい者の方たちが、楽しくスポーツに参加することにより、人々の交流ができ、体力の向上や社会参加の促進を期待しています。2003年（平成15年）7月に発足し、今年で8年目になります。

障がい者スポーツというのを皆さんはご存知ですか。車イステニスや車イスバスケット、水泳、マラソン、卓球…と、たくさんのスポーツがあります。その中で、私たちは、「フライングディスク」と「ボッチャ」という2種類の競技を練習しています。「フライングディスク」は、ディスクを的の中に投げ入れるアキュラシーと、どれだけ遠くまで飛ばせるかというディスタンスの2種類があります。

「ボッチャ」はカーリングに似た競技で、赤・青チームに分かれ、白い的のボールに近づける競技です。筋ジスや脊椎損傷者、脳性麻痺者などの重度障がい者のスポーツです。一昨年の北京パラリンピックで日本は初めて参加することができ、テレビでも放映されました。

そして、皆さんは国体というのをご存知ですね。国体の後に全国障がい者スポーツ大会が開かれています。私たちのメンバーの中から、「フライングディスク」の大阪府の代表として、毎年選ばれており、今年も3名の方が選出されました。頑張っています。

活動の内容としましては、和泉市民体育館で月1回の練習会を開催、そして私たちの会の主催で毎年「ボッチャ大会」と「フライングディスク大会」も開き、和泉市だけでなく、他市・他府県の方たちとも楽しく交流しています。その他、学校訪問、地域の福祉事業にも参加しています。

私たちは障がい者スポーツを障がい者だけでなく、広く市民にも紹介し、ともにスポーツを楽しみ交流が深まることを願い、今後もこの活動を続けたいと思っております。

〈連絡先〉TEL 090-2591-8386　代表　石﨑 慶一

# 結空間

2007年（平成19年）に草の根人権活動奨励賞をいただいてから3年がたちました。

残念ながら子どもたちが置かれている環境は、いまだ改善されているとは言えません。

家庭で多発する虐待、学校ではいじめなど、人権無視の抑圧的な社会状況は生きる希望さえ持てない人を多く出してしまっています。

しかし、そういう社会を「否」とし、人間らしい生活を自分たちで変えて行こうとする官民の多くの人たちの努力もまた大きなものがあります。

私たち結空間も、子どもと親、そして問題意識を持つ多くの方々との連携のもと、必要とされるサポート（相談事業、居場所事業、イベント事業など）だけでなく、既存の枠にとらわれないフレキシブルな、民間ならではのサポートを推進して、課題を抱えて孤立しがちな人・家庭を支え、社会とつなぐと同時に、現場の声・状況を広く社会に発信することによってよりよい社会への変革をめざしています。

子どものことで、どうすればいいかわからない、どこへ行けばいいかわからない、どこへ行っても必要とする支援を受けられないという方々に対し、多くの情報、スキル、ネットワークを持つ結空間がしなくてはいけないことは多大です。

不登校、発達障害、引きこもりの人と家族に対し、みかんの談話室、認知能力強化プログラムの実施、いじめシンポジウム、自然体験教室、コミュニケーション講座、いじめ・不登校に関する講演・講座など、多彩なプログラムを用意しています。ぜひお問い合わせください。

〈連絡先〉
富田林市甲田3-9-26　TEL 0721-25-5132
webサイト　http://www.h6.dion.ne.jp/~yuispace/

# 人権相談の現場から

## 児童虐待（ネグレクト）に関する人権相談

**相談**

近所の住民からの相談。近くに住んでいる父子家庭の男の子の体や衣類の汚れが目立ちだし、父親は留守が多く、電気やガスも止まった状況になっている。
家を訪ね、事情を聴くと、祖母が亡くなってから二人の叔母宅の世話になっていたこともあったが、従兄弟（いとこ）たちとの関係が悪くなったので、自宅に帰ってきた。父親は夜間しか帰ってこないこと、深夜に飲酒して帰宅することも多いということであった。

**対応**

すぐに、市の家庭児童相談室の相談員に連絡し、同行して家庭訪問を行うこととした。父親の帰宅が遅く、午後10時からようやく父親と面談することができた。父親は、妻との離婚後、子どもを引き取ったが、子育ては祖母にまかせていた。祖母が亡くなり、子どもは近隣の親類宅に預けていたが、親類の子どもとの関係が悪くなり、子どもを引き取ったものの、養育が行きとどかない状況である。また、以前、父の借金問題から自己破産したこともあり、現在も体調不良から失業状態で、経済的にも困窮し、自宅の電気とガスも止められているとのことであった。

今後、子どもの一時保護も視野に入れ、関係機関と連携をとりながら、対応していくことを確認した。その後の支援の結果、この父子家庭は、生活保護を受給し、父親の姉妹の協力もあり、以前のようなネグレクトは回避され、養育に関する父の意識も出てきている状態になった。危機介入が適切にできるように見守り支援の継続と連携の体制をとって引き続き取り組んでいる。

ネグレクトとは…保護者として、子どもへの監督・保護を著しく怠ること。

### 父子家庭にも「児童扶養手当」が支給されます！

ひとり親家庭の家計を支援するための「児童扶養手当」。これまでは母子家庭を対象に支給されていましたが、2010年（平成22年）8月1日から、父子家庭にも支給されることになりました。児童扶養手当の支給を受けるためには、お住まいの市区町村で支給申請の手続きをすることが必要です。個々の家庭が支給要件に該当するかどうかは、お住まいの市区町村でご確認ください。

### 虐待は見えにくい。「もしかして…」と思ったら、ためらわずにお電話を。

子ども家庭センター（子ども相談所、子ども相談センター）では、家庭での子どもの養育、発達、不登校など、子どもを育てる上での相談ができます。また、虐待に関する通告も受付けています。子ども本人からの相談も受付けています。

| お住まいの市町村 | 担当センター | 所在地　[最寄駅] | 電話番号　FAX番号 |
|---|---|---|---|
| 守口市・枚方市・寝屋川市・大東市・門真市・四條畷市・交野市 | 大阪府中央子ども家庭センター | 〒572-0838　寝屋川市八坂町28-5<br>[京阪本線　寝屋川市駅] | TEL　072-828-0161<br>FAX　072-828-5319 |
| 豊中市・池田市・箕面市・豊能町・能勢町 | 大阪府池田子ども家庭センター | 〒563-0041　池田市満寿美町9-17<br>[阪急宝塚線　池田駅] | TEL　072-751-2858<br>FAX　072-754-1553 |
| 吹田市・高槻市・茨木市・摂津市・島本町 | 大阪府吹田子ども家庭センター | 〒564-0072　吹田市出口町19-3<br>[阪急千里線　吹田駅] | TEL　06-6389-3526<br>FAX　06-6369-1736 |
| 八尾市・柏原市・東大阪市 | 大阪府東大阪子ども家庭センター | 〒577-0809　東大阪市永和1-7-4<br>[近鉄奈良線　河内永和駅] | TEL　06-6721-1966<br>FAX　06-6720-3411 |
| 富田林市・河内長野市・松原市・羽曳野市・藤井寺市・大阪狭山市・太子町・河南町・千早赤阪村 | 大阪府富田林子ども家庭センター | 〒584-0031　富田林市寿町2-6-1<br>（大阪府南河内府民センタービル内）<br>[近鉄長野線　富田林西口駅] | TEL　0721-25-1131（代）<br>FAX　0721-25-1173 |
| 岸和田市・泉大津市・貝塚市・泉佐野市・和泉市・高石市・泉南市・阪南市・忠岡町・熊取町・田尻町・岬町 | 大阪府岸和田子ども家庭センター | 〒596-0043　岸和田市宮前町7-30<br>[南海本線　和泉大宮駅] | TEL　072-445-3977<br>FAX　072-444-9008 |
| 大阪市 | 大阪市こども相談センター | 〒540-0003<br>大阪市中央区森ノ宮中央1-17-5 | TEL　06-4301-3100<br>FAX　06-6944-2060 |
| 堺市 | 堺市子ども相談所 | 〒593-8301<br>堺市西区上野芝町2-4-2 | TEL　072-276-7123<br>FAX　072-277-4303 |

「夜間・休日 虐待通告専用電話　072-295-8737」（午後5時45分～午前9時 及び 土曜日・日曜日・祝日・年末年始）

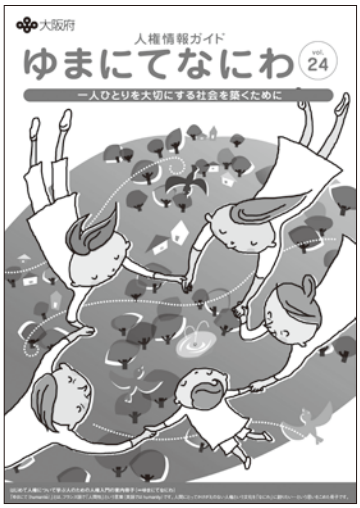
# 大阪府では…

## ■ 人権情報ガイド「ゆまにてなにわvol.24」

**内　　容**

**はじめて人権について学ぶ人のための入門冊子**

一人ひとりに違い＝個性があり、かけがえのない存在として大切なこと（例えば、多様性、自尊感情、自己表現など）や、いろいろな人権問題のこと（例えば、同和問題、女性の人権、障がい者の人権、高齢者の人権など）をわかりやすく解説したものです。
人権研修等でご活用ください。




**体　　裁**　A4版　34ページ

※冊子をご希望の方は下記あてにご連絡ください。（ただし、部数に限りがあります）
冊子は無料ですが、送料をご負担ください。

**連 絡 先**

〒540-8570　大阪市中央区大手前2丁目
大阪府人権室人権教育・啓発グループ　TEL06-6944-6189　FAX06-6944-6616

# お知らせ

### 高槻市

**人権ばらえてぃセミナー**

■日時／10月1日（金）から毎週金曜日　午後2時～4時　5週連続講演
■内容／講演①「女性の人権　ニュースを読む　～記事に見る男女の視点の違い～」　講師：細見三英子さん（ジャーナリスト）　②「高齢者の人権　～自宅、地域での生活を支えるために～」　講師：高山彰彦さん（かんでんジョイライフ人材育成部長）　③「子どもの人権　～子どもの貧困～」　講師：浦岸英雄さん（園田女子大学教授）　④「人権に根ざしたまちづくり　～誰もが安心して暮らせるまちへ～」　講師：池谷啓介さん（NPO暮らしづくりネットワーク北芝事務局長）　⑤「障害者の人権　～障害者の自立とは？地域の一員として～」　講師：谷口明広さん（愛知淑徳大学教授）
■場所／高槻市役所総合センター14階会議室　■定員／各120人　■入場料／無料　■その他／手話通訳・要訳筆記あり（申し込み不要）、保育あり：無料　3～5歳　5人（各講演会1週間前までに申し込み。多数抽選。）

**人権を考える市民のつどい**

①講演会と啓発作品入選者表彰式
■日時／12月4日（土）午後1時半～3時30分
■内容／講演：『太郎が恋をするころまでには』差別のない社会をめざして　■講師／栗原美和子さん　■場所／高槻市生涯学習センター2階多目的ホール　■定員／300人
■入場料／無料　■その他／手話通訳・要約筆記あり
②人権パネル・啓発作品入選作展示
■日時／12月3日（金）～4日（土）　■内容／パネルテーマ：差別と文化　■場所／高槻市生涯学習センター1階展示室　■入場料／無料

**2010フェスタ・ヒューマンライツ**

■日時／12月5日（日）午前9時30分～午後3時
■内容／移動ミュージカル「ビッグバン」講演、舞台発表や活動紹介、体験コーナー、バザー、食べ物コーナー
■場所／高槻市立富田ふれあい文化センター
■入場料／無料
■問合せ（上記事業すべて）／高槻市人権まちづくり協会
TEL：072-674-7878　FAX：072-674-7877

### 吹田市

**2010人権フェスティバル**

（主催：吹田市・吹田市教育委員会・吹田市人権啓発推進協議会）
■日時／12月5日（日）午後1時30分～午後4時（開場午後1時）■内容／①「じんけん作品」入選者表彰式　②人権コンサート「国を越え、言葉を超えて」：冴木杏奈（さえきあんな）さん（タンゴ歌手）　③講演：「子どもを叱れない大人たちへ」講師：桂才賀（かつらさいが）さん（落語家）　■場所／吹田市文化会館「メイシアター」中ホール　■定員／500人　■入場料／無料
■その他／手話通訳あり

■問合せ／吹田市人権啓発推進協議会(吹田市自治人権部人権平和室内)　TEL:06-6384-1539　FAX:06-6368-7345

## 箕面市

**みのお市民人権フォーラム25th**

■日時／12月4日(土)～5日(日)

■内容／①全体会:講演「差別のない社会をめざして～『橋はかかる』～」講師:栗原美和子さん(テレビプロデューサーとして数々のヒットドラマを生み出す傍ら、脚本・小説・エッセイ等、執筆活動も行っている)
②分科会:宗教・地方自治、在日外国人問題、教育(こども)、女性問題、部落問題、障害者問題に関する各講演など

■場所／4日:メイプルホール(大ホール、小ホール)5日:らいとぴあ21、文化・交流センター　■入場料／全体会・分科会通し券:1000円(障害者市民・高齢者市民の介護者は1人無料)分科会:500円　※18歳以下はすべて無料

■その他／手話通訳・要約筆記・一時保育あり

■問合せ／みのお市民人権フォーラム実行委員会事務局
TEL:072-722-5838 FAX:072-724-9698
E-mail:jfm@hcn.zaq.ne.jp

**女性に対する暴力をなくす運動啓発パネル展示**

■日時／11月12日(金)～25日(木)

■場所／箕面市役所本庁ロビー・男女協働参画ルーム・みのお市民活動センター・ライフプラザアトリウム・豊川支所ロビー・らいとぴあ21展示スペース※場所・期間は変更する場合があります

■問合せ／箕面市人権文化部男女協働参画課
TEL:072-724-6943　FAX:072-725-8360

## 八尾市

**『ひゅーまんフェスタ2010』**
**「知ろう　気づこう★　つながろう◆」**

■日時／11月20日(土)～21日(日)午前10時～午後4時

■内容／【11月20日】紙芝居劇、障がい者スポーツ・ボッチャであそぼと「ガッツリ・ディスコン」、親子でわやわやつどいの広場、ピースクイズ2010、八尾市国際交流センター活動紹介写真展・障がい者作業所展、八尾市地域包括支援センター紹介、識字・日本語学級作品展示、プラバンづくり、八尾市民族文化フェスティバル「ウリカラゲモイム」他
【11月21日】●人権啓発セミナー「子どもの貧困と子どもの未来」講師:田上時子(たがみときこ)さん(NPO法人女性と子どものエンパワメント関西　理事長)　●CAPおとなワークショップ「子どもを被害者にも　加害者にもしないために」　●第33回みんなのしあわせを築く八尾市民集会「心の目、見えていますか　“心の瞳”トーク&コンサート」　北田康広(きただやすひろ)さん(歌手、ピアニスト)　■場所／八尾市文化会館(プリズムホール)　■入場料／紙芝居のみ有料、それ以外は無料　■その他／手話通訳・一時保育あり(ただしイベントによる・要問合せ、保育は有料・要問合せ)

■申込み・問合せ(上記事業すべて)／八尾市人権政策課
Tel 072-924-9863　Fax072-924-0175

## 羽曳野市

**きらりはびきの～男女共同参画フォーラム&人権を考える市民の集い～**

■日時／11月5日(金)午後6時30分～(開場午後6時)

■内容／講演会テーマ「いまを生きる、共に生きる」

■講師／佐藤初女(さとうはつめ)さん　■場所／LICはびきの　ホールM

■定員／600名　■入場料／無料

■その他／一時保育(要予約)・手話通訳あり

■問合せ・申込み／羽曳野市人権推進課
TEL:072-958-1111　FAX:072-958-8061
E-mail:jinkensuishin@city.habikino.osaka.jp

## 河内長野市

**共に生きる社会をめざして**

①障がい者問題を考える(大阪パントマイムグループによるパントマイム公演)

■日時／11月20日(土)午後1時30分～午後3時30分

■場所／河内長野市立市民交流センター(キックス)

**②人権を考える市民の集い**

■日時／12月1日(水)午後1時30分～午後4時

■内容／人権に関する講演会　■講師／桂才賀さん

■場所／河内長野市立文化会館(ラブリーホール)

**共に生きる社会をめざして**

③映画「ゆずり葉」の鑑賞

■日時／2011年2月19日(土)午後1時30分～午後4時

■場所／河内長野市立文化会館(ラブリーホール)

■問合せ(上記事業すべて)／河内長野市人権協会
TEL:0721-53-1111(内線261、263)FAX:0721-53-1955

## 泉南市

**2010人権週間「市民の集い」**

■日時／12月5日(日)午後1時30分～3時30分

■内容／一部:講演「日本の伝統芸能と被差別民衆の想い」　講師:中尾健次さん(大阪教育大学教授)　二部:能勢人形浄瑠璃「鹿角座」による人形浄瑠璃公演　■場所／泉南市立文化ホール　■定員／500名　■入場料／無料　■その他／手話通訳・一時保育あり　■問合せ／泉南市人権推進課　TEL:072-480-2855　FAX:072-482-0075

## 高石市

**人権を考える市民の集い**

■日時／11月26日(金)午後1時30分～3時

■内容／トーク&コンサート「心　元気に」

■講師／荒井深絵(あらいみえ)さん　■場所／高石市役所　別館3階多目的ホール　■定員／120名　■入場料／無料

■その他／手話通訳あり
「特別人権相談所」併設(午後1時～4時)

■問合せ／高石市人権協会(高石市人権推進課内)
TEL:072-265-1001　FAX:072-263-6116

第24回

柏原市

# 大和川付け替え　－大和川治水記念公園－

近鉄大阪線「安堂」駅を降りると、ぶどう狩りの案内が目立つ。このぶどうは河内ワインにもなる。旧国道170号線を南に歩くと、国道25号線との交差点を挟んで幅200mもある大和川が見える。奈良県に発したこの流れは、大阪府柏原市との境の亀の瀬渓谷をくぐりぬけ、南河内からの石川と合流して、西に向かい藤井寺、八尾、松原、堺、大阪市を経て大阪湾に注いでいる。

しかし、この西に向かう大和川の流れは江戸時代にはなかった。かつて大阪のほとんどは海だったが、大和川などが土砂を運びこんで河内平野ができた。大和川は、その平野を、久宝寺川や玉櫛（たまくし）川、平野川などとなって淀川に注いでいたため、常に河内平野は洪水の危険がつきまとっていた。江戸時代になっても十数回もの洪水に見舞われ、多くの家が流されて死者も出ていた。

この洪水から生活を守るために、1656年（明暦2年）ごろから、河内郡、讃良（さざら）、若江、茨田（まんだ）郡の農民が、大和川を付け替えて西に向けて大阪湾に流す案を作り、何度も幕府に嘆願した。特に今米（いまごめ）村の庄屋である中甚兵衛（じんべえ）は、幾度もの困難を乗り越えながらも付け替え運動の中心を担った。これに対して付け替え先となる村々からも付け替え案への反対が出された。

幕府の検分（現地調査）は、1660年（万治3年）から1703年（元禄16年）まで5回を数えた。淀川河口などの改修やしゅんせつ工事がなされたため、4回目の検分では付け替え案が廃止になったが、河床には土砂がたい積し、周りの田畑より3mも高い天井川になってしまった。その後毎年のように起こる洪水を受けて、5回目の検分の後、ついに幕府は付け替えを決定した。この決定を受けて付け替え反対の村々は、代替地を嘆願することになったのである。このとき最初の嘆願から実に50年を数えていた。

この大河川の流れを変えるという大改修工事は、翌年から8か月というスピードで行われ、中甚兵衛は工事の御用を命じられたのであった。

この工事によって河内平野の洪水は治まり、多くの新田が開発された。そこでは綿花が栽培され、河内木綿の産地にもなったのである。しかし、付け替えられて整備された大和川では、代替地への移転という問題に加え、特に南側において洪水の被害が起こるようになった。そのために川のバイパスづくりなど、今も治水対策が続けられている。大きな川の流れという大自然に対して、自らの生活や命を守るという権利を実現するためには、常に対立や課題を越えていく必要があるのだろう。

付け替えの起点となったところは築留（つきどめ）と呼ばれ、今この交差点の角には、「大和川治水記念公園」があって、「大和川付替記念碑」や「中甚兵衛翁（おう）像」などがある。また築留にある大和川から長瀬川と玉櫛川に取水する樋はアーチ状のレンガ積みで、文化庁の登録有形文化財になっている。

## 友達

交野市　中学一年生（当時）　谷（たに）　あきこ

私はあるクラスの一人の女の子。
いつも一人でいる。
なんでいつも一人なのかというと、
昔、私は人をいじめていた事があった。
そのころの私は友達なんて
どうでもいいと思っていた。

そんなある日とつぜん、
仲のよかった友達に無視をされた。
「なんで？」と思いながらも、
別に気にしなかった。
でも、やっぱりおかしいから、
私は、何かされる前に自分から
みんなから離れたんだ。

その日から私は一人になったんだ。
どんな時も…。一人ぼっちだった…。
つらくて、かなしかった。
そうして、いつものように
私は一人でいた。
だけど何か、自分の名前を呼ばれたような
気がした。
少しなつかしい声…。
ふり返ると前まで仲のよかった一人の
女の子だったんだ。
私はただ嬉しくて…。
目から涙がこぼれ落ちたんだ。

そして、私は、これから友達を
大切にすると誓ったんだ。
もう絶対に傷つけないと…。

2009年度（平成21年度）人権啓発詩・読書感想文募集事業（大阪府・大阪府教育委員会・愛ネット大阪）の入選作品より

2010年（平成22年）10月発行
この情報誌は7,000部作成し、1部あたりの単価は97円です。
発行／大阪府府民文化部人権室
〒540-8570　大阪市中央区大手前2丁目
TEL.06-6944-6189　FAX.06-6944-6616
http://www.pref.osaka.jp/jinken/
編集／財団法人大阪府人権協会
〒552-0001　大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8階
TEL.06-6581-8613　FAX.06-6581-8614
http://www.jinken-osaka.jp

「そうぞう」とは　人権尊重社会を実現するためには、さまざまな偏見や差別を受けている人の状況・気持ちを「想像」することと、豊かな人権文化を「創造」することが必要です。この情報誌がこれらの「そうぞう」につながるように―そんな思いが込められています。